

今号編集の方針

『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』も第5号の刊行となりました。

本論集は前号までに、日本社会学会の『社会学評論スタイルガイド』（第二版）に準拠して執筆していただいた上で、それを編集委員会で作成した投稿用テンプレートを用いて原稿作成・投稿いただく体制を整えて参りました。本号には、その第Ⅰ部にこうして投稿いただいた5本の論考を掲載することとなりました。また、後半の第Ⅱ部には、本誌の基盤となるプロジェクト「アジアにおけるソーシャル・ウェルビーイング研究コンソーシアムの構築」の活動記録と、合わせてコンソーシアムメンバーの研究成果一覧が掲載されています。

ところで、本論集はここまで、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（S1491003：平成26年度～平成30年度）の助成を受けて刊行してまいりましたが、今年度をもちまして事業年度は完了となり、一旦、休刊となります。本研究プロジェクトは、これに先立つ研究プロジェクト「社会関係資本（ソーシャル・キャピタル）研究センター」（平成21年度～平成25年度）を引き継ぐ形で、ここまで計10年の研究活動を重ねてまいりました。両プロジェクトの研究代表をつとめた原田博夫教授が、今年度をもって専修大学を定年退職されます。両プロジェクトの事業年度完了とともに退職されます原田教授に、この場を借りて、ここまでのご尽力に深く感謝申し上げます。

ソーシャル・ウェルビーイングの領域に関心をお持ちの方は、今後は、事業年度完了後も継続編集されることが決まった英語論集 *The Senshu Social Well-being Review* (Vol.6以降、年1回刊行予定) への投稿、そしてお目通しをお薦めします。

『ソーシャル・ウェルビーイング研究論集』

編集委員長 大矢根 淳